

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	柏の葉学園 第2教室		
○保護者評価実施期間	2025年 6月 15日 ~ 2025年 6月 22日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 6月 15日 ~ 2025年 6月 22日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 18日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心できる環境つくり	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に、今日の支援内容と状況をお話しする「一言運動」の実施をしています。 ・季節ごとにZOOM参観や保護者会イベント開催など支援の様子が伝わる様々なイベントの企画をしています。 ・時々の課題に応じて個別面談を行っています。 ・支援の様子が伝わるように学園だよりやブログ等で積極的に 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者とのコミュニケーションがはかれるようなイベントの充実を図りたいと思います。 ・保護者同士が情報共有できるような機会の提供が出来るように企画していきたいと思います。 ・モニタリング以外でも随時面談を受付しているが保
2	職員の丁寧な関りと支援	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から職員会議や職員研修等の開催を通じてスタッフの支援の向上に努めています。 ・子どもたち一人一人の特性に応じた対応や子どもたちやご家族の日々の変化の共有に努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会や研修等の開催を継続していきたいと思います。 ・これまで以上に子どもたちやご家族の変化に気が付ける「気遣い」を強化していきたいと思います。
3	子どもの楽しさ・引き出している	<ul style="list-style-type: none"> ・通所している子どもたちの状況を把握しより良い支援を提供するために毎朝約1時間の勉強会、月に1回の職員会議を開催。 ・ことあるごとに職員会議を開催し支援内容を検討しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際提供している支援内容をご家族に伝えきれないことが多いため対応を検討していきたいと思います。 ・今後もこれまで以上に支援内容の充実を図っていきたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所運営の見えにくさ・情報発信不足	<ul style="list-style-type: none"> ・実際登園してくれる子どもたちへの支援提供を第一と考え、スタッフ全員で支援に全力を注いでいます。その影響から、情報発信に対応する人員確保や時間配分等の手薄さが要因かと思われます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の支援提供を第一とする考えは継続しつつも、保護者の皆様に事業所運営の様子が伝わる様学園だよりやブログ等を活用していきたいと思います。
2	防災・緊急時対応の取組に関する情報発信不足	<ul style="list-style-type: none"> ・実際登園してくれる子どもたちへの支援提供を第一と考え、スタッフ全員で支援に全力を注いでいます。その影響から、防災訓練の実施やマニュアル等の整備は行っているものの、情報発信に対応する人員確保や時間配分等の手薄さが要因かと思われます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の支援提供を第一とする考えは継続しつつも、保護者の皆様に事業所運営の様子が伝わる様学園だよりやブログ等を活用していきたいと思います。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		柏の葉学園 第2教室				公表日	2025年8月18日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5				
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		規定通りの人員が配置されている。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日そうじアルコール消毒を実施。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		業務改善委員会を設置。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		年に一度実施。結果に対して職員会議で話し合い、共有→改善を行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		月に一度職員会議、年に2回研修旅行、月に数度食事会を開催。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	顧問の先生方に見て頂いている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		毎日の朝礼・勉強、月に一度の職員会議と様々な機会がある。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		HPに公表。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		半年に一度、必要な応じて行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員会議を開催して個別支援会議を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		家族、スタッフ間で面談や会議を行い、設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	スタッフ全体で話し合いを行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5				

供 給	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼、申し送りを毎日行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		終礼を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援終了後、その日のものはその日のうちに全員で協力して行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年に一度と、必要に応じて行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		①自立支援と日常生活の充実のための活動 ②創作活動 ③地域交流の機会提供 ④余暇の提供 しっかり組み合わせられるよう会議を行って	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		本人が選ぶ、考える支援を提供している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児発管が参加している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		カレンダーや連絡帳を使い、行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	4	1		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援ブログ（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	イベントを開催。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	1		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		保護者との連絡を密に行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		委員会を開催。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		ブログで発信。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		委員会を月に一度開催。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	委員会を開催し、同意書で保護者に説明している。	